

⑤4 四日市港臨港道路（霞4号幹線）整備事業

受賞機関 国土交通省 中部地方整備局
四日市港湾事務所

キーワード 曲線橋での後ラーメン工法、大ブロック架設、

全建賞審査委員会の評価ポイント

港湾貨物を円滑に背後の高速交通網に輸送するため、延長約4.1kmの臨港道路を11の橋梁で構成される連続高架橋を整備した事業。曲線橋では国内初となる後ラーメン工法を採用して、維持管理の簡素化や合理化を図った点や、両端クレビス型油圧ジャッキを使用した起重機船による大ブロック架設を国内で初めて採用し、作業の安全性・確実性を高めた点が評価された。

1. はじめに

四日市港は、我が国有数の石油コンビナートを有するエネルギー供給基地として、またコンテナ定期航路網が充実した国際物流拠点として中部圏を代表する国際貿易港である。

四日市港臨港道路霞4号幹線は、四日市港霞ヶ浦地区と伊勢湾岸自動車道みえ川越ICを結ぶ暫定2車線、約4.1kmの臨港道路である。四日市港霞ヶ浦地区における港湾取扱貨物の増大に伴い、港湾物流機能の効率化、周辺道路の交通混雑の緩和、地震時における背後地とアクセスの代替機能の確保を目的に平成17年に事業化され平成30年4月1日に開通した。



四日市港臨港道路霞4号幹線全景

2. 事業の概要

本臨港道路は、延長約4.1kmのうち約3.3kmは連続高架橋となっており、11の橋梁で構成されている。曲率半径が小さい曲線橋における後ラーメン工法や起重機船による大ブロック架設において吊具に両端クレビス型油圧ジャッキシステムを採用し、橋梁形式の合理化、架設作

業の効率化を図った。

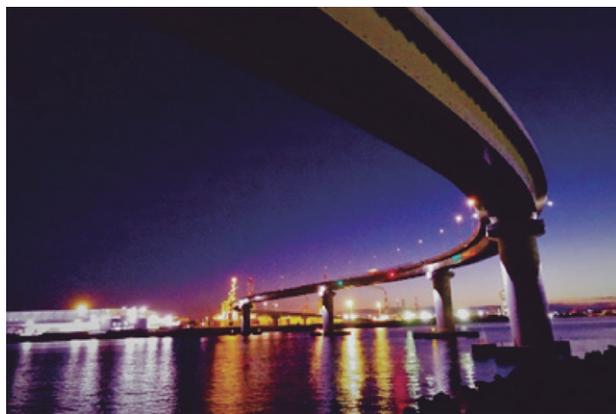
ルート上には稀少動植物が生息し、ウミガメの上陸・産卵のある高松干潟の保全を図るため、植栽の移植・復旧や交通車両による光漏れを防ぐ遮光板を設置し、事業実施と自然環境や生活環境の共存・調和を図った。

また、津波発生時には、地元住民等が非常駐車帯や検査路を避難場所として利用できるように避難用昇降階段を設置した。

3. 事業の成果

本臨港道路の開通により、霞ヶ浦地区から伊勢湾岸自動車道みえ川越ICの所要時間は約11分短縮することができ（従前：約17分⇒整備後：約6分）、交通量の分散により国道23号や霞大橋交差点の渋滞軽減が図られた。

道路利用者からは、今まで霞ヶ浦地区は、出島で霞大橋1本しか結ばれていなかったが、もう1本道路ができたことにより、防災面で安心できるようになった等、開通したことに対して感謝の声をいただいている。



四日市港臨港道路霞4号幹線と工場夜景

4. おわりに

本臨港道路を市民に親しみをもっていただくために名称を公募し、四日市港の近代化に尽力された稲葉三右衛門にちなんだ「四日市・いなばポートライン」が選定された。

引き続き、四日市港における港湾貨物の円滑化に資する事業を進めて参りたい。

賛助会員 あおみ建設(株)、五洋建設(株)、JFEエンジニアリング(株)、東洋建設(株)、日本工営(株)、日立造船(株)、(株)不動テトラ、みらい建設工業(株)、若築建設(株)